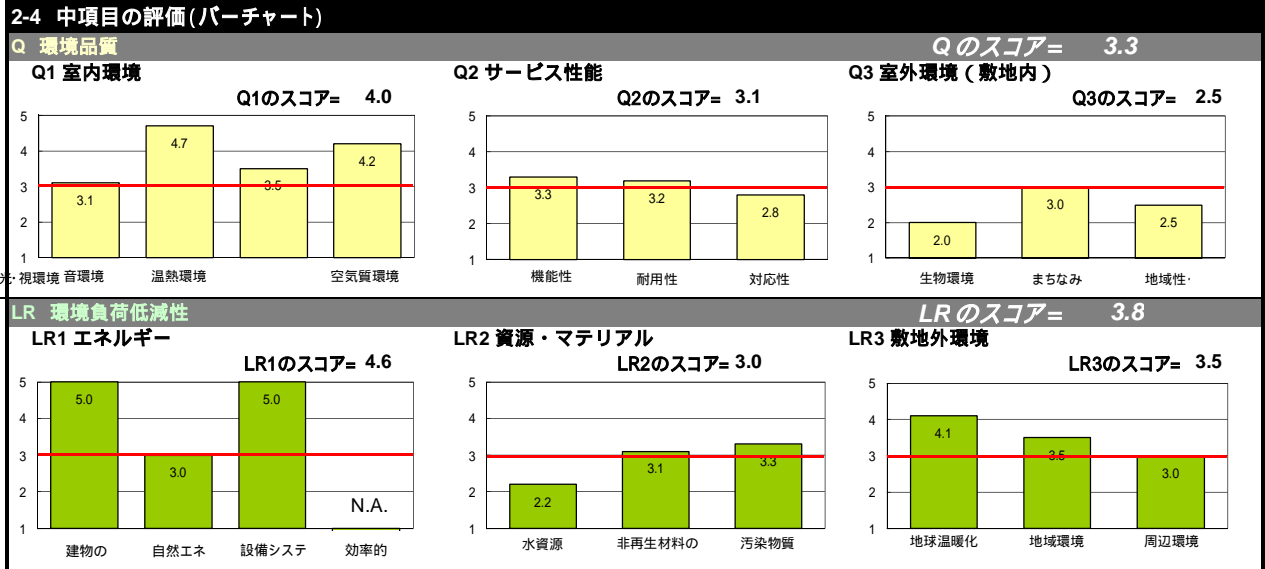
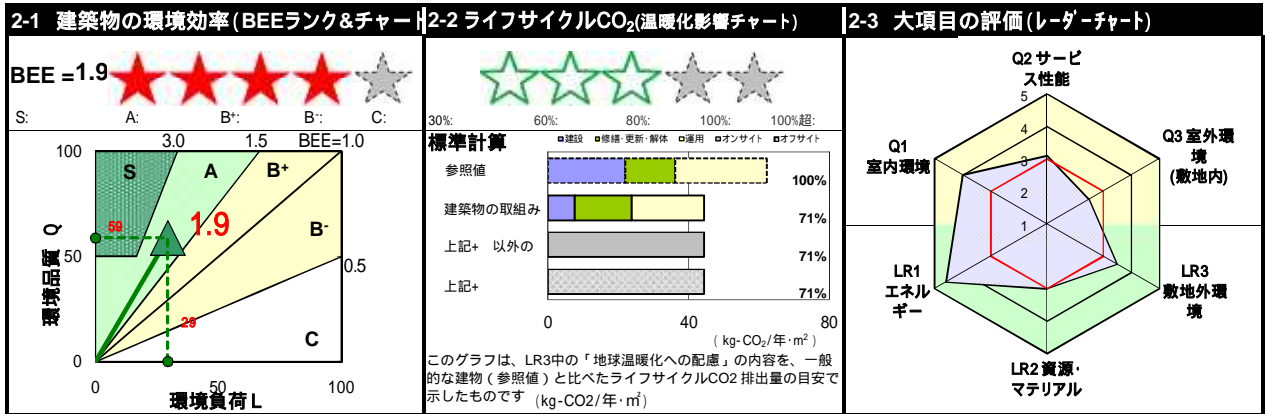


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和市下鶴間2丁目計画	階数	地上14F
建設地	大和市下鶴間二丁目2820-1外	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	1,228 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2013年11月19日
敷地面積	12,037 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,493 m ²	確認日	2013年11月19日
延床面積	25,081 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
緑豊かな敷地沿道の雰囲気作りと、住棟外壁におけるアースカラーを採用することで地域になじむ温かみのある景観創出に努めた。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・省エネルギー対策等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F ・ホルムアルデヒド以外のVOCの放出が極めて少ない部材を採用。	・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	・大和市の景観計画に適合した彩色とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・エコジョーズを採用し、エネルギーの有効利用を図るとともに、省エネ等級4相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努めた。	・内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。	・沿道緑化に努め、大和市の緑化基準に適合。 ・大和市の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される